

授業科目	* 健康教育論				単位	1			
履 修	必修	関連資格	保健師 高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11117J			
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1				
担当教員	布花原 明子、財津 倫子								
授業概要	<p>現在、わが国の医療体制は、病院完結型医療から地域包括医療へと大きくシフトしている。その中で、看護には、健康づくり・疾病予防から、外来、入退院後の過程で、教育的な支援役割が期待されている。看護師は、対象者である個人や集団がもつ能力を活かし、充実した社会生活を送ることができるように、相談・指導・教育の支援をすることが必要である。当該授業では、個人・集団への健康保持・増進を支援する健康教育と、治療を必要としていたり、退院後に健康状態の再構築を必要としている対象者への患者教育について解説する。また、情報化時代の中で、人々が健康や医療をよりよく意思決定できるよう、ヘルスリテラシーに対する取り組みについても基礎的な知識を解説する。</p>								
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康教育の目的と展開方法を説明できる。(DP1-2,DP2-1)</li> <li>2. 個人・集団を対象とした健康教育・患者教育の方法、技術及び教育媒体の種類と特徴を説明できる。(DP1-2,DP2-1)</li> <li>3. 健康教育・患者教育に活用できる行動変容理論を説明できる。(DP1-2,DP2-1)</li> <li>4. 個人の特性に応じた、対象にわかりやすく伝える患者教育が説明できる。(DP1-2,DP2-1)</li> <li>5. 集団の特性に応じた健康教育を説明できる。(DP1-2,DP2-1)</li> </ol>								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	90	0	10	0	0	0	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)	60						60		
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)	30		10				40		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
健康教育・患者教育の基本的な知識を理解し、看護実践のさまざまな問題を考える時に応用することができる。文献の内容について説明し、他の人に正確に伝えることができる。					健康教育・患者教育の基本的な知識を身に付け、それを人に説明することができる。文献の内容について、他の人に説明することができる。				
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	

1	<p>テーマ:健康教育とヘルスリテラシー(布花原明子・財津倫子)</p> <p>健康教育・患者教育の目的と展開過程を解説する。また、健康や医療についてのよりよい意思決定のためのヘルスリテラシーについて説明する。</p>	講義	復習:授業内容の復習	45
2	<p>テーマ:健康行動理論(布花原明子)</p> <p>健康信念モデル・変化のステージモデルをとりあげ、行動科学の理論を看護の実践の場にどう活用するかについて、グループワークを交えながら解説する。</p>	講義・GW	復習:授業内容の復習	45
3	<p>テーマ:患者教育の理論(財津倫子)</p> <p>患者教育のねらいと、アンドラゴジー及びセルフケア論の基本的知識について解説し、活用の仕方について説明する。</p>	講義	復習:授業内容の復習	45
4	<p>テーマ:個人・集団への健康教育の方法と技術(布花原明子)</p> <p>個人・集団を対象とした健康教育の方法と種類について解説する。また、健康教育媒体の種類と特性について解説する。</p>	講義	復習:授業内容の復習	45
5	<p>テーマ:地域で行われている健康教育の実際ー(外部講師 北九州市保健福祉局健康教育担当係長 堀優子・布花原明子)</p> <p>地域において集団を対象とした健康教育の実際を紹介しながら解説する。</p>	講義	復習:授業内容の復習	45
6	<p>テーマ:患者教育1-対象にわかりやすく伝えるとは-(財津倫子)</p> <p>対象にわかりやすく伝える方法を解説する。事例を説明後、対象にわかりやすく伝えるということについてグループで話し合う。</p>	GW	復習:授業内容の復習	45
7	<p>テーマ:患者教育2-患者教育の媒体作成-(財津倫子)</p> <p>グループでパンフレットを作成する。</p>	GW	復習:授業内容の復習	45
8	<p>テーマ:患者教育3-指導体験-(財津倫子・布花原明子)</p> <p>作成したパンフレットを用いて、看護師・患者に分かれて指導体験を行う。健康教育・患者教育の学びを総括する。</p>	発表	復習:授業内容の復習	45
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護職の教育的役割とその方法を学ぶ科目です。授業内容の復習を行い、基本的な知識を説明できるようになりましょう。			
テキスト	特に指定しない。必要時、資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本健康教育学会編：健康教育—ヘルスプロモーションの展開—。保健同人社。2003.</li> <li>・松本千明著：医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎，医歯薬出版株式会社。2002.</li> <li>・大西和子他編：成人看護学概論，廣川書店。2018。（成人・老年看護学概論テキスト）</li> <li>・標美奈子他編：標準保健師講座 公衆衛生看護学概論。医学書院，2018。（公衆衛生看護学概論テキスト）</li> </ul>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	身の回りには多くの健康教育・患者教育の場があります。地域でどのような健康教育や患者教育がされているのか、インターネット検索などを行うなどして関心を高めてほしいと思います。			
達成度評価に関するコメント	授業時に詳細は説明する。			